

## 第2回 富士見市地域公共交通会議会議録

会議の名称		第2回富士見市地域公共交通会議	
開催日時		平成27年12月21日(月)	開会 午後2時00分 閉会 午後3時50分
開催場所		全員協議会室	出席者数 委員定数20名中 出席者12名
出席者	委員	深野富雄委員、島田アサ子委員、清水実委員、臼杵洋子委員、 三上秀樹委員、真家正人委員、板谷和也委員、宮崎信二委員、 藤倉英行委員、奥村敬一委員、島田臣己委員、新井健司委員 ※欠席 白砂栄子委員、大久保雄二委員、照井誠委員、鶴岡洋委員、 高原昭委員、柳瀬光輝委員、石塚章委員、岩田勇治委員	
	事務局	<b>【事務局職員】</b> 森川建設部長、柴崎建設部副部長、荒川交通・管理課長、 堺交通・管理課技師、地域計画(株)鈴木浩良	
配布資料		<b>【事前配布資料】</b> 資料1 公共交通の実態に関するアンケート調査報告書 資料2 市内循環バス乗降調査結果 <b>【当日配布資料】</b> 第2回富士見市地域公共交通会議 次第 第2回富士見市地域公共交通会議 席次表 第2回富士見市地域公共交通会議 出席者名簿 富士見市地域公共交通会議委員名簿 資料1 富士見市地域区分図 資料2 郵送市民アンケート用紙 資料3 公共施設ヒアリング用紙 資料4 公共交通の実態に関するアンケート調査報告書 <自由意見集計> 資料5 富士見市公共交通現況図 資料6 平成27年度市内循環バス利用状況	
公開・非公開		公開(傍聴 4名)	

## 会 議 事 項

1 開会 森川建設部長

2 会長あいさつ 富士見市副市長 奥村敬一

3 議事

(1) 公共交通の実態に関するアンケート調査報告書について

事前配布資料1と当日配布資料1～5により事務局から説明。

### 質疑応答

会 長：アンケート結果を受けて事務局としての意見をお聞きしたい。

事務局：日常生活でバスを利用している人が全体の1割程度と少なかったこと、

東武東上線西側に住んでいる人が、鉄道駅の東口まで徒歩等で来て、市

内のバスを利用していること、南畑地域においてはデマンド交通の関心

が高く、将来の交通に不安を抱いている人が多いこと等が分かりました。

また、ららぽーと富士見が開業して民営路線バスが拡充し、多くの方が

利用している状況を踏まえ、市営市内循環バスの運営を検討していく必

要があるのではと考えております。

会 長：アンケート調査の間15（事前配布資料1 P.31 参照）の富士見市内のバ

スに対する満足度調査において、総合評価のところ、「やや不満足」

「不満足」が28.6%であり、これは7割以上の方が不満を持ってい

ないと読み取れますが、どう捉えたら良いのでしょうか。

副会長：普段バスを利用していない人やあまり関係ない人の回答も入っている数

字だと思われます。そこで、地域の事をよく知っている委員の皆様にご教

えていただきたいのですが、今回の数字は実態を映したもののなかどうか。アンケート結果を見る限りでは、不満ではなく、「そんなに困っていない」という印象が住んでいて感じることに思えますが、いかがでしょうか。また、バスを利用していない人の交通手段は地域によって違うと思われます。自動車利用の方から見てバス利用について、どう思われているのかを教えてください。

委員：水谷東地域に住んでいて、バスの満足度で不満に思っている人が少ないのは感じており、アンケート結果とリンクしていると思います。実際にバス停留所で、多くの人を待っているのを見ますし、運行本数も多いですが、ららぽーと富士見や富士見市役所までのバスの運行本数が欲しいという意見を聞きます。

会長：鉄道駅から離れている地域だが、バスの運行本数は充実しているのが水谷東地域であると考えられます。

委員：志木駅を生活圏としている人が多い。

委員：南畑地域は広域でありながら住んでいる人が少ない。バスの運行経路は、老人センターや富士見高校等の拠点への運行である。南畑地域は住んでいる人が分散して少ないため、利用者も少ない。そこで、運行本数を増加するなどの対応をすれば南畑地域の満足につながるが、経費の問題があるため単純に運行本数を増加するのは難しいと思われる。ただ、ららぽーと富士見開業に伴い大宮駅や南与野駅から今までなかったバス路線ができたことはよかったが、もう少し運行本数を増加してほしいという意見があります。市営市内循環バスはできればもう1台バスがあれば、より南畑地域を補填できるのではと思われます。

<p>会 長：町会長連合会では話が挙がっていますか。</p>
<p>委 員：挙がりません。</p>
<p>委 員：自動車での移動が多く、近くに行く場合には自転車を利用することが多いため、バスを利用する機会がありません。アンケートを見て、高齢の方が鉄道駅や病院に行くのにバスを利用していることが多いと思われます。今年度より市営市内循環バスの時間帯が変更されたことにより、通院に便利な時間がなくなったため、9時台にバス便が欲しいという意見があります。また、市営市内循環バスでバス停留所の時刻表が低い箇所がありますので、もう少し高い位置に対処してほしいと思います。</p>
<p>委 員：ららぽーと富士見が開業しバスが増え、アンケート結果から7割程度が満足していると感じております。しかし、南畑地域や交通空白地域ではバスの運行本数等に対して不満足と回答しています。また、デマンド交通に対して関心があると思われます。志木市や東松山市では今あるタクシーを利用して、デマンド交通を行っている。バスの利用者が少ない時間帯にタクシーやワゴン車等を利用していく方向で検討をしていくのも良いのではと思います。</p>
<p>委 員：15年前は富士見高校行きのバスが最低でも朝夕2～3便が運行してありました。今では朝夕はあればいい方で、南畑地域へ運行するバスが少なくなっているため、もう少しバスを増加した方が良いと思っております。</p>
<p>委 員：アンケートに関して、バスを利用している人とバスを利用していない人を合わせて行っているため、分けて分析をした方が良いのではと思います。</p>

事務局：バス利用をしている人とバス利用をしていない人で分析をしてみます。
委員：事前配布資料1の公共交通の実態に関するアンケート調査報告書の21ページで富士見市内のバス利用で7割の方が利用したことがないと回答していることに驚いている。富士見市は埼玉県内でも公共交通が恵まれている状況であるため、バスを利用している人がどうなのかという観点から分析をすれば傾向がわかるかもしれません。
委員：どの地域の方が困っていて、どういう状況なのかを分析し、対応策を含め、もう少し検討して頂きたいと思います。
委員：民営路線バスが市内を運行している中で、富士見市全体のバス利用の需要やバス事業者とのバランスを考え、行政の観点からだけではなく、実態を把握することが大切だと思います。また、デマンド交通等いろいろな方法がありますので、今後どのような方法を取り入れていくのかを検討していくのが行政の課題だと思います。
副会長：公共交通の実態に関するアンケート調査の自由意見を見ていると、市民の公共交通に対する意識が高く、市の問題点等を的確に指摘していると思われる。バスを利用している方の意見等をクロス集計し、分析を引き続きしていただき、市としての課題を明確にしていければと思います。バス停留所でバスを待っているのがつらく、待合空間が欲しいとか、夜9時10時台には便数が少ないためバスを利用できず、徒歩や自転車を利用するしかないなどの意見があり、対策として路線を増やしたり、バス停留所を増やしたりするだけでなく、いろいろできることがあると思われま。この地域公共交通会議は、さまざまな方策や対応策等を協議して、市として路線が新たに必要であると合意が得られればその路線を

登録したり、バス事業者に運行を依頼したりできる会議であります。例えば、アンケートにおいてみずほ台駅かららぼーと富士見までのバス路線が欲しいという意見が多くあり、市として必要という判断であれば、バス事業者にこの路線だけ運行を依頼したり、またその路線であまり人が乗らない場合、市がどこまで補助をすれば運行できるのかななどを検討していくことができる会議であります。このアンケートは、市民の移動を把握できるアンケートですので、分析し課題を抽出して、どう解決していくのが大切であると思われま

会 長：アンケートは今日で終わりではなく、引続き分析して頂ければと思えます。よろしくお願いいたします。

## (2) 市内循環バス乗降調査報告について

事前配布資料2と当日配布資料6により事務局から説明。

### 質疑応答

副会長：利用者が減少したことは、利用者のニーズに合っていないためであり、ニーズに合うように運行本数等を変更すれば良いと思います。そのためには、どれだけ多くの人が利用しているのか。1日1便あたりにどれくらいの方が利用しているのか。それが、目標を達成できているのか。できていない時間帯、路線に対してどうしていくのか等を論点とすれば、一歩踏み込んだ議論ができるのではないかと考えています。それを考えると事前配布資料2では、朝の利用が多く、夕方の利用が少ないと思われま

りますが、市として乗車数の目標数を設定していれば、教えていただきたい。

事務局：市として乗車数の目標数字を設定しておりません。
副会長：市内循環バスを黒字経営するには、多くの乗車数が必要ですが、市として1日1便あたりどのくらい乗車数があれば良いという数字を設定しておく、説明しやすいのではないかと思います。
会長：市内循環バスは、公共施設を結ぶ路線からより利用者が多い鉄道駅を結ぶ路線に変更していった経緯があります。ららぽーと富士見開業に伴い民営路線バスが拡充したことにより、市内循環バスの利用者数が影響を受ける形になっていると思われませんが、いかがでしょうか。
事務局：そのとおりです。今回の調査でも、公共施設に行く手段としてバスの利用は少ないという結果になっています。
会長：こういう話を含めて検討していただければと思います。バス事業者からの立場として意見があれば教えていただきたい。
委員：市内循環バスの運行本数をこれ以上増やすのは、現状の形態では無理です。現在でも、2台の内1台は運転手を交代制にしている状況ですので、運行本数を増やすのであれば、もう1台バスを増加していただきたい。市内循環バスの利用者が前より減っているとの意見ですが、民営路線バスの影響もあり、市役所から鶴瀬駅までの前谷住宅線に関しては、少ない印象ですが、鶴瀬駅から市役所まで利用者数はそんなに変化していないと感じています。
会長：今回は数字だけでしたが、追加で傾向や変化をまとめて提示して頂けますでしょうか。お願いいたします。
副会長：市内循環バスは利用者が多い方だと感じますが、必要に応じて少しずつ変化をしていけば良いと思います。自由意見の中で、「そもそもバスを利

用できない」や「バス停留所までが遠い」という意見もあります。だれでも利用できるように、すべての地域には難しいと思いますが、比較的平等になる様に検討していく方法もあるのではないかと思います。自由意見集の36ページにあった意見のように、「以前は自動車を使っていたけれども、今は利用できなく、買い物もできない状態でひきこもり状態である。そもそも自宅付近に、バス路線があるかどうかわからない。」など、将来の交通手段に不安を持っている人や、バスの運行経路を知らない人をどのように救っていくのかという所まで踏み込んだ議論をしていく必要があると思われます。現状で市内循環バスを大きく変化させるのは難しいと思います。10年後20年後の富士見市の将来を考えて、抜本的な変化を含めて議論していく必要があると思われます。

会 長：それはデマンド交通も含めての話ですか。

副会長：長い目でみてデマンド交通の良し悪しを含めて検討していく必要があり、導入にあたってはどうすべきなのかなどの議論ができるように、引続き準備をしていく必要があるのかなと思います。

#### 4 その他

事務局：次回会議の日程は改めてご連絡いたします。

委 員：バスの運行に関しては、道路の整備が必要だと感じますが、東武東上線西側の鶴瀬駅から上沢地区にかけての市道第904号線はもう少しで完成すると思うが、状況はどうなっているのか。また、市内3駅がつながる都市計画道路が未整備であるが今後の状況を教えていただきたい。

事務局：鶴瀬駅西側から上沢地区に行く道路（市道第904号線）ですが、平成



25年から工事をしており、完成は平成27年度末（平成28年3月末）の予定でしたが、一部区間において関係者と協議している関係で若干遅れております。平成28年度中に完成する予定です。また、都市計画道路は、優先順位を付けて順次計画を進めており、まずはみずほ台駅東口から水子貝塚公園にかけての都市計画道路を整備するため、只今協議中でございます。

会 長：都市計画道路の資料を提示できれば資料の一つとして提示してはどうか。

事務局：資料を準備し、ご説明させていただきます。

5 閉会 森川建設部長